

記入例 同居中の親族が任意後見監督人の選任を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印	<b>任意後見監督人選任申立書</b>
<p>(注意) 登記手数料としての収入印紙は、貼らずにそのまま提出してください。</p> <p style="text-align: center;">印</p> <p>この欄に申立手数料としての収入印紙800円分を貼ってください(貼った印紙に押印しないでください。)</p>	
貼用収入印紙	円
予納郵便切手	円
予納収入印紙	円

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 平成 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人の 記名押印	甲野太郎
---	--------------	------

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の後見登記事項証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 本人の財産に関する資料	<input checked="" type="checkbox"/> 任意後見契約公正証書の写し <input checked="" type="checkbox"/> 本人の診断書(家庭裁判所が定める様式のもの) <input checked="" type="checkbox"/> 任意後見監督人候補者の住民票又は戸籍附票 <small>(候補者を立てていただく取扱いの場合のみ必要です。)</small>

申立人	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町00番00号00マンション000号 (方)
	フリガナ氏名	大正昭和 甲野太郎 年 月 日生 (00歳)
	職業	会社員
	本人との関係	※ 1 本人 2 配偶者 ③ 四親等内の親族(本人の長男) 4 任意後見受任者 5 その他( )
本人	本籍(国籍)	都道府県 00市00町00番地
	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 申立人の住所と同じ (方)
	フリガナ氏名	明治大正昭和 甲野一郎 年 月 日生 (00歳)
	職業	無職

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

任意後見契約の委任者について記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分、当てはまる番号を○で囲み、3又は5を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

申 立 て の 趣 旨
任意後見監督人の選任を求める。

申 立 て の 理 由
(申立ての動機、本人の生活状況などを具体的に記入してください。)
<p>本人は、長年にわたって自己の所有するアパートの管理を行っており、平成〇年〇月〇日に乙山春男弁護士との間で、任意後見契約を結んだ。その後、認知症の症状が進み、アパートの家賃の徴収や賃貸契約等を一人で行うことができなくなったので、本件を申し立てた。</p>

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

公正証書に記載されている番号です。

任意後見契約	公正証書を作成した公証人の所属	〇〇地方 法務局	証書番号	平成〇年 第〇〇〇号
	証書作成年月日	平成〇年〇月〇日	登記番号	第〇〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇号
任意後見受任者	住 所	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇	電話	〇〇 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇〇〇
	フリガナ氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇〇マツシヨン〇〇〇号 ( 〇〇 方)		
		オツヤマハルオ 乙山春男	大正 昭和 平成	〇年〇月〇日生 ( 〇 歳)
	職 業	弁護士	本人との関係	〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
	勤 務 先	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話	〇〇 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇〇〇 法律事務所

登記事項証明書に記載されている番号です。

本人と任意後見契約を締結している者（任意後見受任者）について記入してください。法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。